

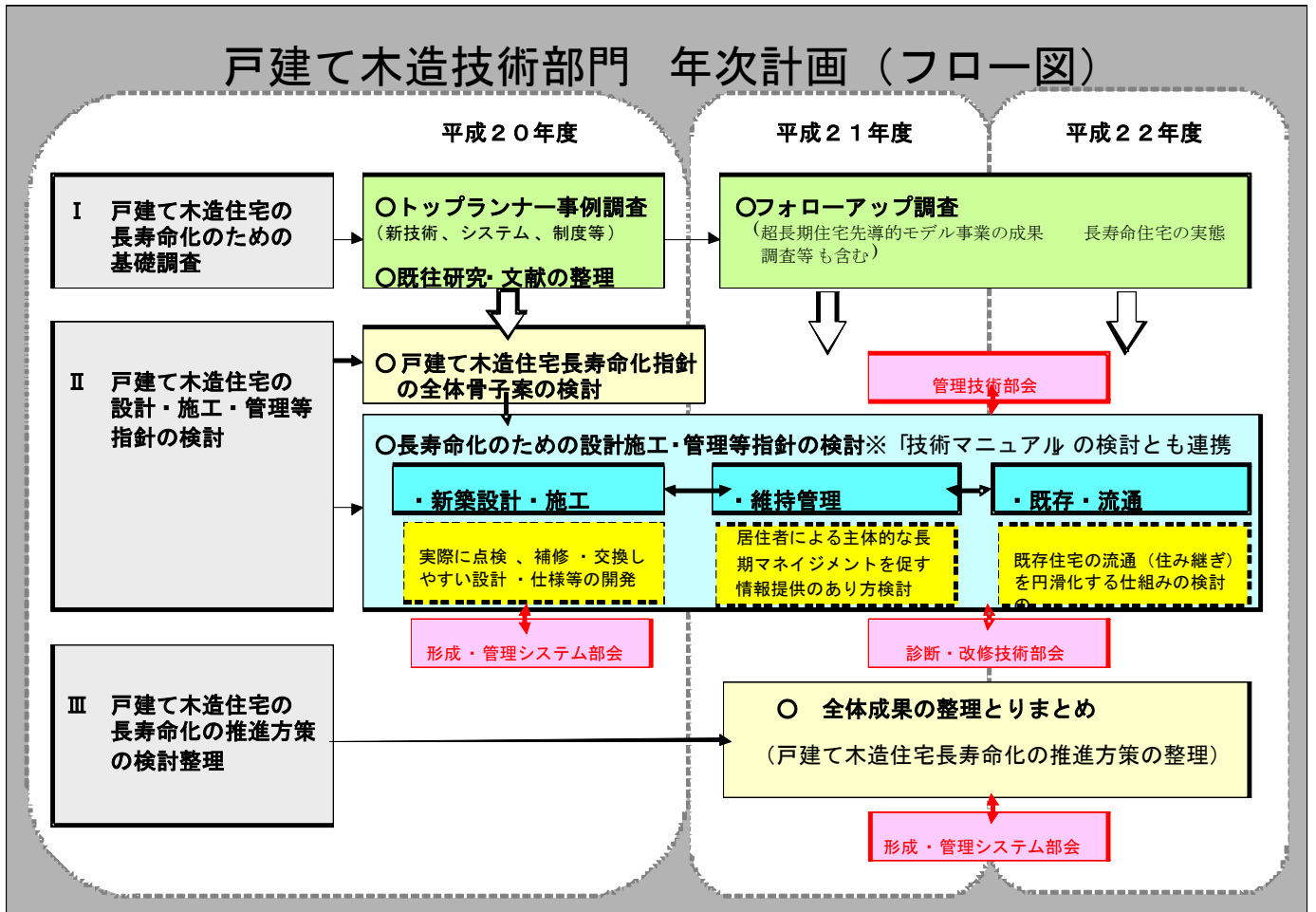
## IV. 戸建て木造技術部門

## 1. 全体の研究方針

戸建て木造住宅は、日本人の住む新築・既存住宅の中で一番シェアの大きい住宅の構造・形式であり、各地域固有の自然、文化、産業等とも親和性の高く、フロー及びストックの両面において、長寿命化のための技術基準と推進方策を検討する意義は極めて大きい。木材は、その弱点である水(雨漏りや結露等によるもの)に対する備えや、適切な維持管理等に十分配慮すれば、耐震性・耐久性ともに大変優れた再生可能な天然材料であり、住宅全体の長寿命化にあたり、戸建て木造住宅は、極めて重要な役割を担うべきである。

以上の認識のもと、戸建て木造技術部門においては、オープン工法(在来工法・ツーバイフォー)を主対象とし、戸建て木造住宅固有の長寿命化の意義と効果や、その実現のための条件を明確にしたうえで、多世代利用住宅としての戸建て木造住宅(新築及び既存)の設計・施工・管理等指針(「等」は改修・流通)の検討を、①木材の長所を生かす長寿命化、②豊富な既往の知見等の活用、③新築住宅と既存住宅双方の長寿命化、④生産組織の持続可能性の確保配慮、等にも十分留意しながら、さらには、地域性の重視や「住まい手」の参加にも十分配慮しつつ実施するものである。

なお、形成・管理システム部門等、その他部門との検討とも十分整合を図りつつ検討を進める。



## 2. 今年度の検討の背景と基本的考え方

木造の建築・住宅は、我が国固有の住環境を長らく形成し、豊かな地域性を育んできた。

このような木造住宅を多世代にわたって継続的に利用（つまり長寿命化）していくことは、少子高齢化などの社会経済状況を踏まえた居住機能、居住環境の形成・維持、廃棄物やCO<sub>2</sub>排出量削減、中でも木材においては炭素貯留と併せて次なる木材資源の成長時間を支える役割などの地球環境の観点から、現在、強力に推進していくべき重要課題となっている。

戸建て木造住宅の長寿命化を実現していくためには、長寿命化に配慮した設計・施工を行うほか、その特性を踏まえ、適時・的確、きめ細かな維持管理を行うことが必要不可欠である。

以上の背景と考え方に基づき、多世代利用総プロ 戸建木造技術部門においては、昨年度（平成20年度）の「設計・施工指針（案）」の検討につづき、今年度（平成21年度）は、「戸建て木造住宅の長寿命化のための維持管理指針（案）」の検討を進めた。検討に際しては、前年度同様、戸建て木造住宅の長寿命化のためには、住まい手、つくり手、行政など様々な主体がそれぞれ適切な役割を果たしていくことが必要であるとの考えを基本としている。

## 戸建て木造住宅の長寿命化のための指針検討WG（平成21年度）委員構成

（敬称略・順不同）

主 査	大橋 好光	東京都市大学工学部 教授
委 員	飯山 道久	(社)日本木造住宅産業協会 技術開発部長
	小見 康夫	東京都市大学工学部 准教授
	河合 直人	(独)建築研究所構造研究グループ 上席研究員
	河合 誠	(社)日本ツーバイフォー建築協会 技術部会長
	越海 興一	国土交通省住宅生産課木造住宅振興室長
	佐藤 雅俊	東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授
	齊藤 広子	明海大学不動産部不動産学科 教授
	島原 万丈	(株)リクルート住宅総研 主任研究員
	槌本 敬大	国土技術政策総合研究所総合技術政策研究センター 評価システム研究室長
	恒次 祐子	(独)森林総合研究所木質構造居住環境研究室
	中島 史郎	(独)建築研究所建築生産研究グループ 上席研究員
	中島 正夫	関東学院大学工学部建築学科 教授
	藤澤 好一	職業能力開発短期大学校東京建築カレッジ 学校長
	藤田 香織	東京大学大学院工学系研究科 准教授
行 政	田中 敬三	国土交通省住宅生産課木造住宅振興室 企画専門官
	宿本 尚吾	国土交通省住宅生産課 企画専門官
	河合 麦	国土交通省住宅生産課 係長
委託者	国土技術政策総合研究所住宅研究部	
	部長 大竹 亮	住環境計画研究室長 長谷川 洋
	住宅瑕疵研究官 高橋 暁	住宅計画研究室長 森 正志
		住宅生産研究室 研究官 角倉 英明
事務局	日本住宅木材技術センター・アルセッド設計共同体	
	(財)日本住宅・木材技術センター 永田、古澤、増村	
	(株)アルセッド建築研究所 大倉、山口、塙、	
	(株)ドットコーポレーション 平野、中村	

### 「調査・作業SWG」委員構成（敬称略・順不同）

主 査	大橋 好光	東京都市大学工学部 教授
委 員	小見 康夫	東京都市大学工学部 准教授
	齊藤 広子	明海大学不動産部不動産学科 教授
委託者	国土技術政策総合研究所住宅研究部	住宅計画研究室長 森 正志
		住宅生産研究室 研究官 角倉 英明
事務局	日本住宅木材技術センター・アルセッド設計共同体	
	(財)日本住宅・木材技術センター 永田、古澤、増村	
	(株)アルセッド建築研究所 大倉、山口、塙	
	(株)ドットコーポレーション 平野、中村	